

三田まつり 一輪車演技

今年の『三田まつり 一輪車演技』は8月3日（土）に郷の音ホール（三田市総合文化センター）で行われました。平成3年より28年間、母子幼稚園・母子小学校は一輪車演技に取り組んでいます。幼稚園児から小学校6年生の児童まで、みんなで作り上げています。今年も三田祭りの「オープニング」として、郷の音ホールの大ホールの舞台上で演技することができました。

一輪車演技の演目 リトルマーメイド

演目は「リトルマーメイド」。4月の最初に子どもたちと話し合って決めました。今年から新たな演技講師の先生をお招きして、「リトルマーメイド」の演技構成をいっしょに考えていただきました。また月2回（計8回）の演技指導も行っていただきました。4月の下旬から本格的に練習が始まり、三田祭りを目標にがんばってきました。ときには思うように演技ができず、何度も悔しい思いをしてきたこともありましたが、高学年の子どもたちが中心となって声をかけ、励まし、みんなの気持ちを高め、だんだんと出来るようになってきました。そして最後の練習では「笑顔」を大切に1人ひとりが「海に泳ぐ魚」のように、演技できるようになりました。



当日は、三田市長 森哲男様をはじめ、育友会や地域の方々、母子小学校の卒業生、三田祭りに来られた方など、たくさんの人に見ていただくことができました。「メリーゴーランド」や「タイヤ乗り」「通り抜け」「グライディング」など、それぞれが目標とする技を成功させることができました。4月の最初、一輪車に乗れなかった子どもが、大舞台上でみんなと笑顔で演技する姿を見て、胸が熱くなります。最後の技が決まり全員で礼をしたとき、会場内が大きな拍手と歓声に包まれていました。練習の成果が発揮でき、子どもたちは最高の笑顔で終わることができました。

講師の先生をはじめ、保護者の皆様には練習や衣装づくり、元気の出る声かけなど母子の一輪車演技を支えていただきました。また、卒業生や地域の方々には、当日、たくさん声援を送っていただき、お世話になりました。ありがとうございました。

